

## 都の聖母と小聖堂



1847年、フランス東部の小村で主任司祭であったレオン・ロパン神父は日本における壮絶な殉教史を知り「日本の改宗を祈る会」を創設し活動を開始されました。その呼びかけはフランス全土を越えて広がり大きな動きとなりました。師は都に教会を建てたいというザビエルの願いを叶えようと、ブロンズの聖母像を作り、1865年、教皇ピオ9世による祝別を受け「都の聖母」Notre Dame de Miyakoと命名されました。それを京都が見下ろせる丘の上に埋めるよう、パリ外国宣教会に託されたのです。禁教令下の1873年ヴィグルー神父の手によって東山将軍塚に埋められましたが、1873年禁教令が解かれた後、宣教のため京都に赴任したヴィリオン神父の手によって1879年に掘り出されたものです。以来、この像は河原町教会で大切に保管されてきましたが、2004年新たに地下聖堂を設け、都の聖母に捧げられました。早朝や夜のミサ、黙想会などに利用されています。祭壇奥のエッチングガラスには26聖人殉教者／

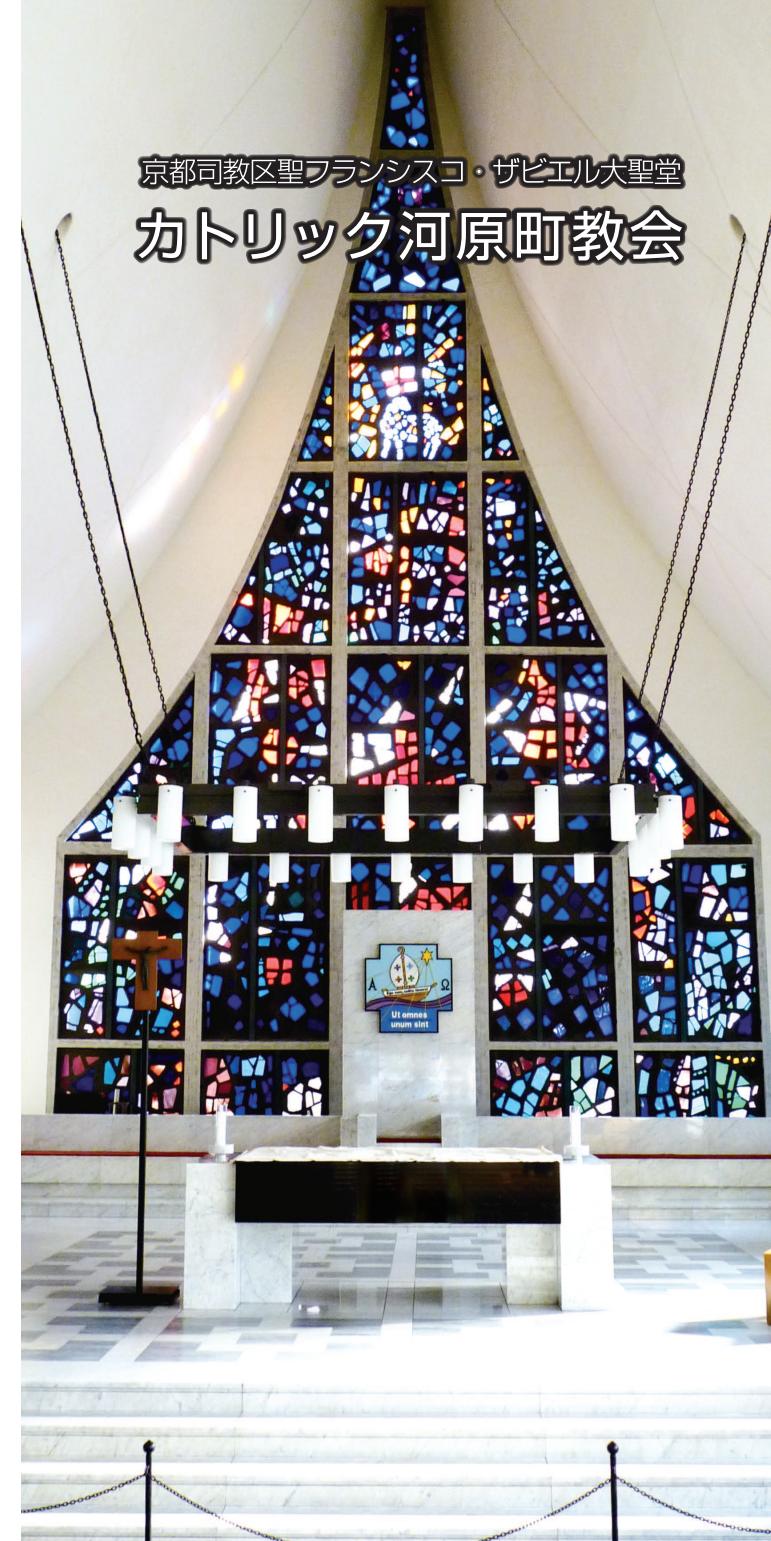
の信仰の輝きを示す26の星と、海を越えて福音がもたらされた事を象徴して波が描かれています。大海原を越え、日本での宣教を願って送られてきた都の聖母のオリジナルがそこに安置されています。



〒604-8006 京都市中京区河原町通り三条上ル下丸屋町423  
TEL. 075-231-4785 FAX. 075-211-8021  
URL:<http://kawaramachi3.com/>

京都司教区聖フランシスコ・ザビエル大聖堂

## カトリック河原町教会





## 聖フランシスコ・ザビエル大聖堂

本聖堂は名前の通り、聖フランシスコ・ザビエルを守護聖人とした、京都の司教座聖堂（カテドラル）です。

聖フランシスコ・ザビエルは日本での宣教を始めるにあたって都に教会を建てる事を熱望しましたが、果たせませんでした。師の望みは脈々と受け継がれ、禁教令が解かれた後1890年パリ外国宣教会から派遣されたヴィリオン神父により、ザビエル来日以来340年を経て木造バロック様式の見事な聖堂建立によって結実されました。それが初代河原町教会聖堂ですが、1967年に老朽化のため解体され、現在は博物館明治村（愛知県犬山市）で保存展示されています。現在の聖堂はスイス人司祭フロイラー神父の設計で建設され、1967年6月に祝別されました。東西43m×南北15.4m×高さ24mで、屋根の曲線は日本古来の神社様式を取り入れたものです。

## 祭 塾

祭壇、説教台、聖櫃台、後方の司教座、内陣席及び床はすべて大理石で造られています。司教座の上部に司教紋章、左説教台の前には都の聖母レプリカ像、洗礼盤が配置されています。

## 会衆者席

横4列、縦20列木製で可動式、440名が着席可能、立席含め収容能力は550名です。

## ステンドグラス

スイスのハンス・シュトッカー製作。入り口右手から大天使ミカエル、当教会守護聖人フランシスコ・ザビエル像、さらに奥へ向かって、十字架の道行き14場面と主の復活が日本列島の輪郭を模して配しています。主張色は緑と紫で、日本列島に生息している植物、豊かな光と水に恵まれた日本の風景を表しています。

祭壇正面で、後陣全面を使って表現されているのは天地創造のイメージです。天頂近くに、神の子羊が見られます。

## パウロ大塚喜直司教紋章

アルファAでありオメガΩである主の十字架、希望の星に導かれて世の荒波を渡る教会の船、ミトラを型どった帆には京都教区（京都、滋賀、奈良、三重）を表す4つの十字架が印されています。司教の杖は船を支え、神の民の一一致が保たれるのです。船体には主の言葉「私だ、恐れることはない」、下部には司教のモットー「皆が一つになるように」をラテン語で示しています。



パウロ大塚喜直司教の紋章

## パイプオルガン

1971年2月設置、ドイツ・ボッシュ社により設計・製作されたもの。

メカニカルアクション、22ストップ、2段鍵盤、平行ペダル、パイプ数1509本です。



## 殉教者の間

2008年11月24日、長崎でペトロ岐部と187名の殉教者が列福されました。そのうち52名は京都での殉教者たちでした。その殉教者たちを記念する祈りの場として2008年10月、聖堂入り口左側に設置されました。ここには、2008年制作された公式複製画「聖フランシスコ・ザビエル像」、1987年列福された都のラザロと、1619年の「京都の大殉教」を現わすガラスエッチング画及び、ファティマの聖母像などが飾られています。入り口右手（北側）は告解室です。



「京都の大殉教」を現わすガラスエッチング画

